

令和8年度

青森県公立学校(特別支援学校) 教員採用候補者選考試験について

障がいや病気のあるこどもたちの希望に向かって、
共に歩む教員を募集しています！

特別支援学校では、障がいや病気の状態
に応じて、一人一人の能力を生かし、
小学校・中学校・高等学校に準じた
教科等の学習を行います。
高等学校・大学等への進学を目指す
こどもたちも支援します。

特別支援学校教諭の選考試験の教科（科目）及び採用見込数

特別支援学校教諭については、下記の教科（科目）を募集します。

校種等	教科（科目）		採用見込数
特別支援学校 教諭	小学部		約35人
	中学部	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	
	高等部	国語、公民、地理歴史、数学、物理、化学、生物、音楽、美術、保健体育、家庭、英語、農業（作物・園芸・食品化学）、情報	

公立学校教員採用候補者選考試験の最新情報について

公立学校教員採用候補者選考試験の詳細については、以下をご確認ください。

県教育委員会ホームページ

(<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-kyoin/kyousai.html>)

県の教員採用公式X

(https://twitter.com/Aomori_kyoin)



〈県教育委員会
ホームページ〉 〈県の教員採用公式X
ホームページ〉

青 森 県 教 育 委 員 会

県立特別支援学校の設置学部及び所在地

障害区分	学 校 名	設置学部	所在地
視覚障害	県立盲学校	幼・小・中・高	青森市
	八戸盲学校	小・中	八戸市
聴覚障害	青森聾学校	幼・小・中・高	青森市
	弘前聾学校	幼・小・中	弘前市
	八戸聾学校	幼・小・中	八戸市
肢体不自由	青森第一養護学校	小・中	青森市
	弘前第二養護学校	小・中・高	弘前市
	八戸第一養護学校	小・中・高	八戸市
病弱	青森若葉養護学校	小・中・高	青森市
	浪岡養護学校	小・中・高	青森市

障害区分	学 校 名	設置学部	所在地
知的障害	青森第二養護学校	小・中・高	青森市
	弘前第一養護学校	小・中・高	弘前市
	八戸第二養護学校	小・中	八戸市
	黒石養護学校	小・中・高	黒石市
	青森第二高等養護学校	高	青森市
	八戸高等支援学校	高	八戸市
知的障害 及び 肢体不自由	青森第一高等養護学校	高	青森市
	森田養護学校	小・中・高	つがる市
	七戸養護学校	小・中・高	七戸町
	むつ養護学校	小・中・高	むつ市

※幼：幼稚部、小：小学部、中：中学部、高：高等部の略です。

小学校・中学校・高等学校と特別支援学校との併願

以下のいずれかの場合に、電子申請にて併願希望「あり」を選択することにより、併願を認めます。詳細については、実施要項10ページ、VIをご覧ください。

小学校	↔	特別支援学校	小学部
中学校	↔	特別支援学校	中学部（同一教科に限る）
高等学校	↔	特別支援学校	高等部（同一教科（科目）に限る）

Q&A

- Q1 特別支援学校を受験するには、特別支援学校（養護学校等）教諭普通免許状が必要ですか。
 A1 原則小学校・中学校・高等学校のいずれかの教諭普通免許状があれば受験ができます※。ただし、採用後できるだけ早い時期に特別支援学校教諭普通免許状を取得していただきます。※小学部については、中学校教諭普通免許状の所持、又は幼稚園教諭普通免許状を所持し、かつ実施要項11ページVII1の受験資格を満たした場合も、受験ができます。

- Q2 特別支援教育の知識がないので、不安です・・・。
 A2 特別支援学校受験者及び併願希望者は、第一次試験において「特別支援教育に関する事項」の受験が必須になります。しかし、採用後は様々な研修を受ける機会があり、実践的、専門的な知識・技術を習得できます。また、周りの先生方が親身にサポートしますのでご安心ください。

- Q3 人事異動はどのように行われますか。
 A3 本人の希望（勤務地、障がい種）、経験、特性などを勘案して行われます。また、小・中学校及び高等学校との人事交流（期限付き）も推進しております。

先輩教員からのメッセージ

- ① 特別支援学校教員になってよかったと思うこと
- ② 感動エピソード
- ③ 受験者へのメッセージ



(勤務歴)
青森県立青森第二養護学校 (R6~)

齋藤 杏 教諭 (令和6年度採用)

- ① こどもの苦しい姿や指導に悩んだ分、こどもたちと一緒に難しいことに挑戦し達成できた喜びを共感し合える瞬間、教員になってよかったと思います。
- ② 失敗が怖くて中々チャレンジすることができなかったこどもを、励ましたり継続した手立てを講じたりしたことで、少しずつ自分から挑戦できるようになったことやこどもが自分でできたことに喜び姿が見られた時嬉しかったです。
- ③ 初めて特別支援教育に携わって沢山悩むこともありますが、教員同士で相談し合い、こどもたちと関わりながら自分自身も学び、日々を送っています。こどもたちのことを考えながら一緒に働ける日を楽しみに待っています。



(勤務歴)
青森県立青森第一高等養護学校 (R6~)

小倉 航 教諭 (令和6年度採用)

- ① 毎日の授業で生徒に教えるだけでなく、生徒の考え方や行動など、こちらが教えてもらうことがたくさんあること。生徒たちとの毎日のやり取りが楽しく、勉強に前向きな姿勢を見て「明日もがんばろう」と思えること。
- ② 1年の終わりに、生徒たちから手作りのプレゼントをもらいました。一緒にもらったメッセージカードには「楽しかったです」「ありがとう」など、生徒たちからの気持ちが良く伝わり、教員になってよかったと改めて感じました。
- ③ 生徒たちと関わる日々は、毎日新しい発見の連続です。自分らしさを見つけ、発揮できる職業なので、やりがいもあります。誰かの未来のために頑張りたい、自分の可能性を見つけてみたいという方は、ぜひとも挑戦してください！



(勤務歴)
青森県立八戸高等支援学校 (H30~)
青森県立青森第二高等養護学校 (R5~)

外崎 由賢 教諭 (平成30年度採用)

- ① こども一人一人と深く向き合うことができ、その子に合った方法で指導ができます。生徒と対話しながら学びを共有し、その積み重ねが成長という形で現れたときにやりがいを感じます。
- ② 何をやるにも不安感を抱く傾向にあった生徒が、「できた」と喜ぶ姿が増え、向上心や挑戦する気持ちが日に日に育っていき瞬間に立ち会えたこと。
- ③ こどもたちの「やってみたい」を後押しできる素敵な職業です。
特別支援教育は、一人一人の個性を生かしながら可能性を広げられる素晴らしい仕事であり、指導方法も無限です。これからの未来を担うこどもたちを私たちと一緒に育てていきましょう。



(勤務歴)
青森県立八戸第二養護学校 (R5~)

阿部 春花 教諭 (令和5年度採用)

- ① 初めは、大変なこともありましたが、毎日、こどもたちが笑いのネタをもってきてくれるので、笑いが絶えない日々を過ごすことができ、教員になってよかったと思っています。
- ② 初任から2年間受けもった児童から、終業式の日「しゅんかせんせいありがとう」と手紙を渡しに来てくれたことがうれしかったです。自分から、先生に渡そうと思ってくれた気持ちに成長を感じました。これが、やりがいなんだと思いました。
- ③ 特別支援学校と聞いて、あまり馴染みがなく、イメージをもちにくい人もいます。でも、働いてみると、他の校種とは違う魅力があるかもしれません。ぜひ、特別支援学校も検討してみてください！一緒に働きましょう！



(勤務歴)
青森県立青森聾学校 (H28~)
青森県立七戸養護学校 (R2~)

吉田 恋 教諭 (平成28年度採用)

- ① 障がいについて知識を深めていくと、これまで気付かなかったこどもたちの頑張りや思いをより多く感じ取ることができます。卒業式当日の卒業生の姿を見ると、「教師になってよかった」と毎年思います。
- ② 3年間担任をして、言葉で伝えることを苦手としていた生徒が、卒業間近になり、自分の言葉で友達や先生に感謝を伝えることができたことです。嬉しさのあまり号泣しました。
- ③ 他県出身で青森県を受験した私ですが、青森県は先生方も生徒たちも素敵な人ばかりで、青森の採用試験を受けて「良かった」と思って働いています！
そう感じる青森県で一緒に働きましょう！